

2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/デザイン科学域/造形科学域 : /Academic Field of Design/Academic Field of Architecture and Design	年次/Year	/3 年次/3 年次 : /3rd Year/3rd Year
課程等/Program	/デザイン・建築学課程・課程専門科目/デザイン・建築学課程・課程専門科目 : /Specialized Subjects for Undergraduate Program of Design and Architecture/Specialized Subjects for Undergraduate Program of Design and Architecture	学期/Semester	/後学期/後学期 : /Second term/Second term
分類/Category	// : //	曜日時限/Day & Period	/金 2 : /Fri.2

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	13125201			
科目番号 /Course Number	13160009			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	住環境計画 : Housing Environmental Design			
担当教員名 / Instructor(s)	/阪田 弘一/高木 真人/岩本 一将 : SAKATA Koichi/TAKAGI Masato/IWAMOTO Kazumasa			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code	B_DA3210			

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	住居を住環境の重要な構成要素として捉えた上で、都市型社会における住居の本質を探り、それに対応した住環境計画のあり方について概説する。特に、21 世紀の持続型社会に向けて、ストックとしての持続可能な住環境形成を実現するための手法について考察する。
英	The objective of this lecture is a basic theory for planning of living environment in stock-oriented society.

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	住環境にかかわる様々な社会問題について関心を持ち、自身の取り組むべき姿勢について考えること。 現代社会のニーズと潮流を反映するような住環境計画の手法を理解すること。 都市型社会における住環境の形成に関わる立場として、計画学を学ぶことの重要性を認識すること。 ユーザーの視点に立った設計計画の手法を理解し、持続可能な都市型社会のあり方について展望を持つこと。 ストック重視の時代背景をふまえた住生活の安定及び向上のための住環境計画のあり方について理解を深めること。
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	ガイダンス	本授業の狙いや内容について扱う
	英		
2	日	住環境計画の概念と現代の潮流	住環境計画の領域と現代の住環境計画の課題について扱う
	英		
3	日	住宅政策の体系と変遷	日本の住宅環境の現状について及び住宅政策の意義と大系、今後の住宅政策の具体的方向性について扱う
	英		
4	日	セイフティネットと住環境計画	居住支援を必要とする人々のための施策と住環境計画について扱う
	英		
5	日	住宅供給の思想と脱成長時代への展望	主に集合住宅を題材に、住宅供給の思想と変遷、今後の展望について扱う
	英		
6	日	住空間からの住環境設計技法 1	日本の建築家の優れた住宅作品を通して、我が国の持続型社会を支える住環境形成のための設計技法について扱う
	英		
7	日	住空間からの住環境設計技法 2	世界の注目すべき住宅を通して、広く持続型社会を支える住環境形成のための設計技法について扱う
	英		
8	日	住まいの中間領域からの住環境設計技法	住環境形成の上で重要な役割を担う、外部空間と住宅の接点となる中間領域の設計技法について扱う
	英		
9	日	住環境計画の現場 1	主に設計の立場から住環境の創造や再生に取り組む当事者をゲストに招き、実作を題材に対話する。
	英		
10	日	住環境計画の現場 2	主に住まい手の立場から住環境の創造や再生に取り組む当事者をゲストに招き、その取り組みを題材に対話する。
	英		
11	日	都市空間と景観	住環境としての都市空間を形成する重要な視点である景観の形成手法と、その関連法について扱う
	英		
12	日	まちづくりと歴史まちづくり法	まちづくりの基盤となりうる歴史的価値の継承と創造手法と、その関連法について扱う
	英		
13	日	公共空間を活かした住環境整備手法	公共空間を活用した先進的な住環境整備手法について、事例を通して解説する
	英		
14	日	歴史的資源を活かした住環境整備手法	地域の歴史的資源を活用した先進的な住環境整備手法について、事例を通して解説する
	英		
15	日	住環境のサステナブル・デザイン	サステナビリティの概念について及び持続可能（サステナブル）な住環境を維持・形成するための環境デザインのあり方について扱う
	英		

履修条件 Prerequisite(s)

日	
英	

授業時間外学習（予習・復習等）
Required study time, Preparation and review

日	必要に応じて各自で復習することが望ましい。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books

日	
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy

日	期末テスト 100%により評価する。
英	

留意事項等 Point to consider

日	
英	